

秋 田 県

# 土木工事共通仕様書

平成28年10月1日以降適用

# 出来形管理基準

## 【 港 湾 編 】

赤字：秋田県独自項目

青字：今回改訂部分

(H28.10.1改訂)

— 表紙 (裏) 空欄 —

【第4編 港湾工事編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁	
港湾工事編			浚渫			3	
			床掘			3	
			埋立			3	
			置換え			3	
			敷砂			3	
			捨石本均し			3	
			捨石荒均し		被覆 BL 据付面・形状が平型以外で整積の場合		4
					岸壁前面		4
					異形 BL 据え付け面・乱積上に被覆石が載る場合		4
					被覆 BL 据付面・形状が平型で整積の場合		4
					洗掘防止捨石の場合		4
			被覆石均し			5	
			裏込			5	
			アスファルトマット			5	
			合成繊維マット			5	
			合成樹脂型マット			5	
			帆布			6	
			ケーソン製作			6	
			ケーソン据付	2000t 未満		6	
			ケーソン据付	2000t 以上		6	
			鋼杭			7	
			鋼矢板			7	
			コンクリートブロック製作	L 型セルラー		7	
			直立消波 BL 製作			7	
			コンクリートブロック製作	方塊		8	
			コンクリートブロック据付	L 型セルラー		8	
			コンクリートブロック据付	方塊		8	
			コンクリートブロック据付	直立消波 BL		8	
			蓋コンクリート			9	
			水中コンクリート			9	
			防波堤上部工			9	
			係船岸上部工			9	
			岸壁	物揚場		10	
			けい船柱			10	
		車止め			10		
		船揚場			10		

【第4編 港湾工事編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
港湾工事編			異形ブロック製作			11
			異形コンクリートブロック据付	海岸、港湾工事		11
			直立堤			11
			斜堤	直接打設方式		12
			斜堤	異形ブロック方式		12

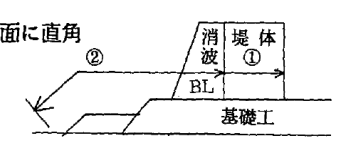
単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
4 港 湾 工 事 編					浚渫	水深（土砂・岩盤）	+0 -規定なし
						斜面（土砂・岩盤）	+0 -規定なし
4 港 湾 工 事 編					床堀	床堀高は 計画面に対して	±300
						床堀斜面は 計画面に対して	外側 2m 内側 300
4 港 湾 工 事 編					埋立	平坦性	設計図書 による
4 港 湾 工 事 編					置換え	幅	+規定なし -0
						延長	+規定なし -0
						天端幅	±500
4 港 湾 工 事 編					敷砂	幅	+規定なし -0
						延長	+規定なし -0
						天端幅	±300
4 港 湾 工 事 編					捨石本均し	基準高	±50
						延長	+規定なし -100
						幅	+規定なし -100

測 定 基 準		測 定 箇 所		摘 要
1) 測深線の間隔は砂または泥質海底の場合、下表の未測深幅とする。 2) 岩盤質海底の場合の間隔は、下表の2倍以上の密度とする。				
水域の種類	海底の状態	水深による区分	未測深幅	
航路 泊地	船舶のために掘 り下げ工事区域	計画水深 4m を超える区域 計画水深 4m 以下の区域	6m 未満 10m 未満	
計画高の断面形状については 10m～20m ごとに1箇所				
測線間隔 20m 以下または設計図書による				
計画面の幅延長については10m～20mご とに1箇所				
計画面の幅延長については10m～20mご とに1箇所				
測線、測点間隔は10m 以下				

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
4 港 湾 工 事 編					捨石荒均し (被覆 BL 据付面・ 形状が平型以外で 整積の場合)	基準高	±300
						延長	+規定なし -100
						幅	+規定なし -100
4 港 湾 工 事 編					捨石荒均し (岸壁前面)	基準高	+0 -200
						延長	+規定なし -100
						幅	+規定なし -100
4 港 湾 工 事 編					捨石荒均し (異形 BL 据付面・ 乱積) (上に被覆石が載 る場合)	基準高	±500
						延長	+規定なし -100
						幅	+規定なし -100
4 港 湾 工 事 編					捨石荒均し (被覆 BL 据付面・ 形状が平型で整積 の場合)	基準高	±100
						延長	+規定なし -100
						幅	+規定なし -100
4 港 湾 工 事 編					捨石荒均し (洗掘防止捨石の 場合)	基準高	±500
						延長	+規定なし -100
						幅	+規定なし -100

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
測線、測点間隔は10m以下	法面に直角	
測線、測点間隔は10m以下	法面に直角	
測線、測点間隔は10m以下	法面に直角	
測線、測点間隔は10m以下	法面に直角	注) 本規格値は、単層整積において被覆 BL の形状が平型(脚が短い)のものを使用する場合とする。
測線、測点間隔は10m以下 ①：本均し ±5cm ②：荒均し ±50cm	法面に直角 	基礎工と洗掘防止工が同時施工の場合、基礎捨石と洗掘防止捨石が接する面については、均しを行わないものとする。

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
4 港 湾 工 事 編					被覆石均し	天端及び法面の均し面の高さ	±500
						岸壁前面の天端の均し面の高さ	+0 -200
						異形ブロック据付面(整積)の均し面の高さ	±300
						天端幅	+規定なし -200
						延長	+規定なし -200
4 港 湾 工 事 編					裏込	均し(天端)	±200
						天端高	+規定なし -100
						天端幅	+規定なし -100
						法面(法面に直角)	±200
						延長	+規定なし -100
4 港 湾 工 事 編					アスファルトマット 合成繊維マット	敷設位置	
						重ね幅	500 以上
						延長	+規定なし -100
4 港 湾 工 事 編					合成樹脂型マット	敷設位置	
						重ね幅	300 以上
						延長	+規定なし -100

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
測線、測点間隔は10m以下	法面に直角	
測線、測点間隔は10m以下		
始・終端及び変化する箇所毎並びに20mに1箇所以上		
1枚に2点		
マットの中心を区間毎及び全長		
始・終端及び変化する箇所毎並びに20mに1箇所以上		
1枚に2点		
マットの中心を区間毎及び全長		

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
4	港	湾	工	事	編	帆布	敷設位置	
							重ね幅	500 以上
							延長	+規定なし -100
4	港	湾	工	事	編	ケーソン製作	長さ	+30 -10
							幅	+30 -10
							壁厚	±10
							高さ	+30 -10
							対角線	+40 -10
4	港	湾	工	事	編	ケーソン据付 2000t 未満	法線に対する出入り	防波堤±200 岸壁 ±100
							据付目地間隔	防波堤 200 以下 岸壁 100 以下
							天端高さ	—
							延長	—
4	港	湾	工	事	編	ケーソン据付 2000t 以上	法線に対する出入り	防波堤±300 岸壁 ±150
							据付目地間隔	防波堤 300 以下 岸壁 200 以下
							天端高さ	—
							延長	—

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
始末端及び変化する箇所毎並びに 20m に 1 箇所以上		
1 枚に 2 点		
マットの中心を区間毎及び全長		
各層完成時に中央部及び底版と天端は 両端		
各層完成時に中央部及び底版と天端は 両端		
各層完成時、各壁 1 箇所		
完成時、四端		
最下段及び完成時		
据付完了後、両端 2 箇所		
据付完了後、天端 2 箇所		
据付完了後、四隅		
据付完了後、法線上		
据付完了後、両端 2 箇所		
据付完了後、天端 2 箇所		
据付完了後、四隅		
据付完了後、法線上		



単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
4	港	湾	工	事	編	鋼杭	杭中心位置	100 以下
							杭天端高	±50
							杭の傾斜	斜杭 3° 以下
直杭 2° 以下								
4	港	湾	工	事	編	鋼矢板	矢板壁延長	+1 枚幅 -0
							法線に対する出入り	±100
							法線に対する傾斜	1/100
							法線方向の傾斜	1/100
							矢板天端幅	±100
4	港	湾	工	事	編	コンクリートブロック 製作 (L型セルラー)	幅	+20 -10
							高さ	+20 -10
							長さ	+20 -10
							壁厚	±10
							対角線	-
4	港	湾	工	事	編	直立消波B L製作	幅	+20 -10
							高さ	+20 -10
							長さ	+20 -10
							壁厚	±10

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
打ち込み完了時、全数		
法線に対する出入り傾斜、天端高については、打ち込み完了後全数量を確認し、20 枚に 1 枚及び変化点。  法線の方向の傾斜は打込完了時(両端)。		
型わく取りはずし後、全数		
型わく取りはずし後、全数		

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
4 港 湾 工 事 編					コンクリートブロック 製作（方塊）	幅	+20 -10
						高さ	+20 -10
						長さ	+20 -10
						対角線	-
4 港 湾 工 事 編					コンクリートブロック 据付（L型セルラー）	法線に対する出入り	±50
						隣接ブロックとの間隔	50 以下
						延長	-
						天端高	-
4 港 湾 工 事 編					コンクリートブロック 据付（方塊）	法線に対する出入り	±50
						隣接ブロックとの間隔 （目地間隔）	30 以下
						延長	-
						天端高	-
4 港 湾 工 事 編					コンクリートブロック 据付（直立消波B L）	法線に対する出入り	±50
						隣接ブロックとの間隔 （目地間隔）	30 以下
						延長	-
						天端高	-

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
型わく取りはずし後、全数		
据付ブロック1個につき2箇所 （最下段、最上段）		
据付完了後、法線上（最上段のみ）		
据付後ブロック1個につき2箇所 （最上段のみ）		
据付ブロック1個につき2箇所 （最下段、最上段）		
据付完了後、法線上（最上段のみ）		
据付後ブロック1個につき2箇所 （最上段のみ）		
据付ブロック1個につき2箇所 （各段毎）		
据付完了後、法線上（最上段のみ）		
据付後ブロック1個につき2箇所 （最上段のみ）		

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
4 港 湾 工 事 編					蓋コンクリート	天端幅 (場所打コンクリート)	±30	
						厚さ	+30 -0	
4 港 湾 工 事 編					水中コンクリート	天端高	+50 -20	
						天端幅	+50 -30	
						延長	+規定なし -0	
						法線に対する出入り	±50	
4 港 湾 工 事 編					防波堤上部工	天端高 ・厚さ	W ≤ 10m	±20
							W > 10m	+50 ~ -20
						延長	+規定なし -0	
						法線に対する出入り	±50	
						天 端 幅	W ≤ 10m	±30
							W > 10m	+50 ~ -30
4 港 湾 工 事 編					係船岸上部工	延長	+規定なし -0	
						天端幅	±20	
						法線に対する出入り	±30	
						天端高又は厚さ	±20	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1室につき5箇所		
天端面は1スパン4箇所以上 パラペット頂部は1スパン2箇所以上		
1スパン3箇所		
法線上		
1スパン2箇所		
天端面は1スパン4箇所以上 パラペット頂部は1スパン2箇所以上		
法線上		
1スパン2箇所		
1スパン3箇所		
—		
1スパン3箇所以上		
1スパン2箇所		
1スパン3箇所、ただし、測定間隔が、 5mを超える場合は5m毎1箇所		

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
4 港 湾 工 事 編					岸壁（物揚場）	天端高	±20	
						厚さ	±20	
						天端幅	±20	
						延長	+規定なし -0	
						法線に対する出入り	±30	
4 港 湾 工 事 編					けい船柱	天端高	±20	
4 港 湾 工 事 編					車止め	法線に対する出入り	±30	
4 港 湾 工 事 編					船揚場	基準高	水中±50 水上±20	
						長さ	水中	+50 -0
							水上	+50 -0
						幅 (延 長)	水中、水上	+規定なし -0
							厚さ	水中、水上

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
係船岸上部工に準拠		
据付完了時、中心部、全数		
取付完了後、中心部を1点		
測線 10m 間隔以下前面BL～止壁張ブロックは両面		

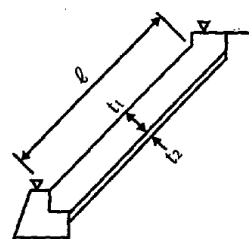
単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
4 港湾 工事 編					異形ブロック製作	型枠形状寸法	観察	
						ブロック外観	観察	
4 港湾 工事 編					異形コンクリートブロック据付 (海岸、港湾工事)	乱積	基準高	ブロック1ヶ据付高の±1/3
							幅	±20%
							延長	+2%
						層積	基準高	26t 未満±300 26t 以上±500
							幅	+2%
							延長	+1%
4 港湾 工事 編					直立提	基準高	±50	
						幅 W W1~Wn	-30	
						高さ h<3m h1~hn	-50	
						高さ h≥3m h1~hn	-100	
						縦長 L	-200	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
型枠搬入後適宜		
全数		
測線 20m 間隔以下 1 工事 3 箇所以上		
施工延長 40m につき 1 箇所、80m 以下のものは 1 施工箇所につき 3 箇所		

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
4 港 湾 工 事 編					斜提 (直接打設方式)	基準高	±50
						法長 $\ell < 3\text{m}$	-50
						法長 $\ell \geq 3\text{m}$	-100
						厚さ t	-30
						延長 L	-200
4 港 湾 工 事 編					斜提 (異形ブロック方式)	基準高	±50
						法長 $\ell < 5\text{m}$	-100
						法長 $\ell \geq 5\text{m}$	$\ell \times (-2\%)$
						厚さ t	-50
						延長 L	-200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m につき 1 箇所、80m 以下のものは 1 施工箇所につき 3 箇所。		
施工延長 40m につき 1 箇所、80m 以下のものは 1 施工箇所につき 3 箇所。	